

第 11 回公開講座のお知らせ

第 11 回公開講座を平成 25 年 1 月 19 日に開催します。テーマは「うつ病」です。皆様のご参加をお待ちしています。

みんなの「うつ」 ～うつ病十人十色～

日時:平成25年1月19日(土)
開場:13:00
開講:13:30~16:10
場所:ふれあい健康館1階ホール
徳島市沖浜東2丁目16
Tel:088-657-0190
参加費:無料
定員:200名(当日参加可)

開会の挨拶 院長 井上和俊 13:30

第 I 部 ~14:50
・うつ病とは 診療部長 井上秀之
・うつ病の治療 副院長 小谷泰教
・新型うつ病 臨床心理士 糸林剛志
・うつ病の方の職場復帰支援 障害者職業センター 新谷正樹氏

休憩 20分
精神科医師・臨床心理士・精神保健福祉士による質問コーナー、血圧測定コーナーをもうけています。お気軽にどうぞ

第 II 部 15:10~16:10

心と体に効く笑いヨガ
あわ・ラフタークラブ 岩野沙織先生



閉会の挨拶 副院長 小谷泰教 16:10

謹賀新年

年頭所感

医療法人睦み会理事長
井上和俊

明けまして

おめでとうございます。
年頭に当たり全員で確認し合い掘り下げていることは、ロマンと基本方針です。

ロマン(理念)

心と身体を癒し続け
人生をより豊かなものとし
今を共に語り合い支え合って生きる

基本方針

- ① ほど良い医療と福祉を提供し、病める人をことさらに大切に生きて生きる
- ② 心の病は誰でもなりうる病気であることを忘れない
- ③ 心の病は必ず治ることを信じ、スタッフ全員で取り組む
- ④ 同じロマンをもつスタッフと一丸となって、共に高め合う

⑤ 互いに支え合う共生社会を作り上げる

以前の理念を見直し現在のものができたのが、一度目の病院機能評価認定後の平成16年秋でした。あれから既に8年が経過し、今までの年頭所感を振り返ってみました。

そこに貫かれているのは、個人と組織が共に「成長」し、社会に「貢献」していることとする「ロマン」です。人により歩みの早い遅いはあるでしょうが、もし法人が最も大切にしているロマンに共感できない人がいたら、その人には残念ですが自分の考えに合うような別の組織へ転職してください。

職員全員が同じロマンをもつスタッフでなければなりません。そして、一枚岩となってロマンを追究していきましよう。昨年の私の気付きの最たるものは、インテグラル理論との出会いは、【すべては正しい、



そして本年は、当法人の治療システムを進化させるべく特徴ある部門への研究費、援助費などを再評価したいと考えています。
そろそろ病院独自の創造性が開花していく時期がきているのではないのでしょうか?そんな嬉しい予感がしています。



しかし部分的である」という認識でした。皆さんはどういう気付きがありましたか?

たくさんさんの気付きを得て、成長していただく。当法人は、以前より各人の成長を図るため、特に研修に力を入れてきました。今後もそれは続くでしょうが、昨年より単なる報告書だけでなく、研修報告分化会を行いより多くの人にシェアすることを始めました。

城西ビオスクリニック Tel. 088-611-1160



城西病院 Tel. 088-631-0181



医療法人睦み会の
最も大切にしているもの
ロマン(理念)

心と身体を癒し続け
人生をより豊かなものとし
今を共に語り合い
支え合って生きる

基本方針

- 一 ほど良い医療と福祉を提供し、病める人をことさらに大切に生きて生きる
- 二 心の病は誰でもなりうる病気であることを忘れない
- 三 心の病は必ず治ることを信じ、スタッフ全員で取り組む
- 四 同じロマンをもつスタッフと一丸となって、共に高め合う
- 五 互いに支え合う共生社会を作り上げる

編集後記

リニューアルして2回目の発行となりました。広報担当者皆で意見を出し合い工夫しながら作成しています。ご意見等頂ければ幸いです。
編集担当者 島村、徳重、大村、嶋田、福原、富山、宮内、脇坂、天羽、山田、柳川、竹岡、水本、清水

相談支援事業所 ビオス

平成25年1月1日、医療法人
睦み会により、「特定・一般 相
談支援事業所 ビオス」が設立
されました。当法人のロマン（理
念）にも、

心と身体を癒し続け
人生をより豊かなものとし
今を共に語り合い支え合って生きる
とありますように、誰もが自
分らしく、より豊かな生活を
送れるよう、気軽に相談でき
る地域の拠点として、利用者
の方々やご家族の皆様と、共
に語り合い、考え、成長でき
る支援を目指しています。

【対象者の方】
身体障がいの方、知的障がい
の方、精神障がいの方

相談から次のステップへ繋が
ることもあります。一人で悩
まず、まずはご相談下さい。



- 【主な活動】
- 来所での相談、電話相談、訪問による相談支援を行います。
 - ☆ 生活相談・サービスの相談 ☆ 情報提供 ☆
 - 例えは・・・
 - こんな時どうしたらいいかな。
 - 日中どこか通う場所がほしい
 - 仲間や相談相手がほしい
 - 仕事に向けた準備をしたい
 - 制度やサービスを利用したい
 - 等のご相談があれば、ご利用下さい。
 - ☆ 地域移行、地域定着支援 ☆
 - 病院や施設に入院している方々へ、入院・入所中から退院に向けて、そして退院・退所後の生活を応援します。退院・退所後、24時間の相談支援体制・緊急対応等を行います。
 - 退院（退所）したけど住む所がない。
 - 一人暮らしの自信がない。
 - お金や薬の管理が出来るか不安。等のご相談があれば、ご利用下さい。

第34回日本アルコール・薬物依存症
関連合同学会に参加して（研究発表）
「スリッパする人、しない人、その違
いは何？」インテグラル理論を参照に
して「ポスターセッションにて発表。
当院の卒酒会は8年を経過し、その経
験からスリッパする人・しない人の違
いをインテグラル理論で参照し4症例
をあげ考察しました。

H24年度 アルコール研修・研究発表

4/13	徳島アルコール関連問題研究会
7/13	徳島アルコール関連問題研究会
9/1・2	第30回中四国アルコール関連問題研究会
9/6~9	第34回日本アルコール・薬物関連問題研究会
10/5	徳島アルコール関連問題研究会
12/8	第4回 中四国アルコール関連問題研究会
12/21	アルコール関連問題従事者研修会

インテグラル理論とは、物事を統括
的・包括的に捉えるための枠
組みを示すもので、その枠組
みを構成する要素のうち4象
限を利用して考察を行いました。
左象限・右象限は個人の内面・外
面を現し、左下象限・右下象限は
象限・右下象限はその人を取り
巻く集団の内面・外面を表
します。4象限を活用すると
①全体像と問題点を地図化し
俯瞰することが出来る②スリ
ッパしやすい人が抱える問題
の多面性・関係性・理
解できる③欠
けている
るところに光を
当てることが出
来るといいうメリ
ットがあります。
問題点が浮かび
上がることで、人
間本来の成長欲
求に働きかける
ことができ、メン

研究発表

第4回 中国四国アルコール看護研
究会に参加して（研究発表）
「卒酒に対する健康意識の高め
方」体力測定を実施して「メ
ンバーは治療に積極的であるが
体力がない方が多いことに気付
いた。知識を高めるだけでは卒
酒には限界があると感じ、卒酒
会に体力測定を導入し実施して
みた。実施中、参加者同士笑顔
がみられ「身体が動くようにな
ってうれしい」「自分の体力の衰
えを感じる。運動せなあかん」と
思う「フラフラしながらも歩け
て嬉しい」など積極的な発言が
みられるようになった。また、
集団で体力測定を実施すること
で、参加者同士の刺激となり、
個々の健康に対する意識が高ま
ってきたのではないかと考える。今後
の取り組みとして、体力測定を持続し
て行い、健康の意識を更に高めていき、
実際に体力向上できるような個々に合
った運動方法を提供していく。これら
により不規則だった生活習慣の改善を
図ることで、健康的に生活できるよう
な基盤を作り、卒酒への意識向上に繋
げていきたい。（文責 福原澄子）

ビオスクリニックデイケアの取り組み

ビオスクリニック
デイケアは、現在60名
程度の利用者様が登
録されており、一日平
均10名前後の方が来
所されています。ビオ
スクリニック開院と
同時にデイケアも開
所し、現在に至って
います。当デイケア
では、食事療法と運
動療法を主とし、健
康な体づくりを行
っています。給食は



山山頂まで登山に行き、
体力に加え、忍耐力も
養う活動を行っています。
太極拳は、范永輝
健康プロジェクトチー
ムの方々を講師として
迎え、4階ホールの
広々とした空間を利用
して、約1時間指導を
受けています。そして、
毎日帰る前には全員で
20分ほどウォーキン
グに出かけます。新町
川沿いをぐるっと歩い
ていると、季節の変化や街の移り変わ
り等が感じられ、心も癒されるような
感じがします。皆様笑顔で充実した
生活を送れるよう、これからも様々な
支援を提供し、社会復帰に向けての取
り組みを続けていきたいと思えます。

当クリニック2階にあるマクロビレ
ストランのランチが毎日提供されて
います。玄米と根菜を主とした汁物、
無農薬の野菜や大豆たんぱくなどを
使用したおかずは、メニューも豊富で
見た目も工夫されており、美味しいの
でお腹も心も満足します。また、マク
ロビに対しての知識を得るために、当
院薬剤師による講義等も月1回プロ
グラムに導入しています。運動プログ
ラムは、リラクゼーション、太極拳、
卓球、バレーやバドミントン、ウオー
キングなどを参加者全員で取り組め
るようにしています。春と秋には、眉

- 主なプログラム
・茶茶タイム
（講師をお招きして）
・季節の行事
（節分、七夕など）
・パン、お菓子作り
・俳句、川柳
・書道、写経
・料理
・手工芸
・運動 など

平成24年9月19日 吟行写生大会 作品紹介

吟行写生大会 俳句の部 入賞

秋風やライオン見ゆる悠然と
秋日和象の自界はゆつたりと
ライオンのたがみ揺れる秋の風
秋の空空気おしい象の自界
秋気登みセイロン象の身の毛たつ

吟行写生大会 俳句の部 地賞

秋暑し小屋から首を出すキリン

俳句の部 入賞

俳句の部 地賞

俳句の部 入賞

俳句の部 地賞

俳句の部 入賞

俳句の部 地賞